2020年度　　**北海道スポーツ専門学校**　　**スポーツ健康　学科**
TR・IN・CO・SB　コース

授業科目（科目ID）	ベーシックエアロビックダンス 20s111	担当教員（実務経験）	樋口　敬勇 有 ☑　無 ☐　スタジオインストラクター		
対象年次・学期	1年・通年	必修・選択区分	必修	単位数	2単位
授業形態	実習	授業回数（1回90分）	30	時間数	60時間
授業目的	エアロビックの特性を理解し慣れ親しむとともに、チームエアロビックを体験し発表する。・レッスンを楽しみながら、持久力、筋力、柔軟性を向上させる。指導者に頼らず、学生自身が自主的に練習に取り組む意識を高める。チーム内の相互練習により、協調性や個々の責任感が養う。大会に参加することにより、日々の生活では味わうことのできない達成感を味わえる。動きに対してもっと上達したいという意欲が芽生える。				
到達目標	「SAC」への参加、エアロビックダンスの振付をチームとして協調し、実施できる。				
テキスト・参考図書等					

評価方法・評価基準	評価方法	評価割合（%）	評価基準
	試験	30%	10月に開催される競技会「SAC(スポーツエアロビックコミュニケーション)」へのチーム部門出場に向け、振付を覚えてもらいます。
	レポート	%	
	小テスト	10%	
	提出物	%	
	その他	60%	

履修上の留意事項	スタジオでのレッスンがメイン。大会に向けた練習では、毎回映像を撮りながら各自動きを覚えていく。専門学校に入学し、初めてエアロビクスを体験する学生も多いと思いますが、1年間楽しく授業ができるように進めていきます。授業の後半にはチーム部門での大会に参加し、発表しますがそれに向けて楽しみながら頑張っていきましょう！

履修主題・履修内容	回数	履修主題	履修内容
	1	オリエンテーション	自己紹介、授業について、諸注意など
	2	レッスン	初心者向けレッスン
	3	レッスン	初心者向けレッスン
	4	レッスン	ステップの分類、運動強度と難易度の理解
	5	レッスン	初級レッスン、体力づくり、基本動作の習得
	6	レッスン	初級レッスン、体力づくり、基本動作の習得
	7	レッスン	初級レッスン、体力づくり、基本動作の習得
	8	レッスン・技術練習	初級レッスン、体力づくり、基本動作の習得
	9	レッスン・技術練習	初級レッスン、体力づくり、基本動作の習得
	10	レッスン・技術練習	初級レッスン、体力づくり、基本動作の習得
	11	レッスン・技術練習	初級レッスン、体力づくり、基本動作の習得
	12	チームエアロビック	振付、練習
	13	チームエアロビック	振付、練習
	14	チームエアロビック	振付、練習
	15	前期実技試験	実技試験
	16	チームエアロビック	振付、練習
	17	チームエアロビック	体育館練習
	18	チームエアロビック	体育館練習
	19	チームエアロビック	体育館練習
	20	大会	SAC出場
	21	大会感想・ビデオ鑑賞	
	22	レッスン	中級レッスン
	23	レッスン	中級レッスン
	24	レッスン	中級レッスン
	25	レッスン・創作	グループごとに動きの創作
	26	レッスン・創作	グループごとに動きの創作
	27	レッスン・創作	グループごとに動きの創作
	28	発表	グループごとに動きの創作
	29	発表	グループごとに動きの創作
	30	後期実技試験	実技試験

2020年度　　**北海道スポーツ専門学校**　　**スポーツ健康　学科**
TR・IN・CO・SB　コース

授業科目（科目ID）	テーピングテクニック 20s112	担当教員 （実務経験）	千保　大聖 有 ☑　無 ☐　トレーニング指導者		
対象年次・学期	1年・通年	必修・選択区分	必修	単位数	2単位
授業形態	実習	授業回数（1回90分）	30	時間数	60時間
授業目的	基本のテーピング技術の習得を目指す。人体各部の構造とスポーツ障害のメカニズムを理解したうえで、テキストから一定の法則を読み取り、実践出来る。				
到達目標	足関節捻挫、膝関節外傷（ACL、MCL損傷5）に対する適切なテーピングが実施出来る。（足関節3分以内、膝関節5分以内）				
テキスト・参考図書等	公認AT専門科目テキスト⑥				

評価方法・評価基準	評価方法	評価割合（%）	評価基準
	試験	60%	実技試験の結果、授業態度を総合的に評価する。
	レポート	%	
	小テスト	%	
	提出物	%	
	その他	40%	

履修上の留意事項	特になし。

履修主題・履修内容	回数	履修主題	履修内容
	1	オリエンテーション	授業内容の説明、諸注意など／アンダーラップの巻き方練習
	2	テーピングの基礎理論	テーピングの役割、目的、効果、留意点など／アンダーラップの巻き方練習
	3	足関節の基礎理論	足関節の機能解剖、スポーツ傷害／アンダーラップの巻き方練習
	4	足部のテーピング	足底筋膜炎に対するテーピング／アンダーラップの巻き方練習
	5	足部のテーピング	足底筋膜炎に対するテーピング、小テスト／アンダーラップの巻き方練習
	6	足関節のテーピング	①足関節捻挫に対するテーピング1
	7	足関節のテーピング	①足関節捻挫に対するテーピング1
	8	足関節のテーピング	①足関節捻挫に対するテーピング1
	9	足関節のテーピング	②足関節捻挫に対するテーピング2
	10	足関節のテーピング	②足関節捻挫に対するテーピング2
	11	足関節のテーピング	②足関節捻挫に対するテーピング2
	12	足関節のテーピング	②足関節捻挫に対するテーピング2
	13	前期復習	足底筋膜炎、足関節捻挫2種類の復習
	14	実技試験	実技試験①
	15	実技試験	実技試験②
	16	復習／応急処置	前期復習／応急処置時に使用するテーピングテクニック
	17	足関節のテーピング	足関節底屈制限のテーピング、小テスト
	18	足関節のテーピング	足関節背屈制限のテーピング、小テスト
	19	膝関節の基礎理論	膝関節の機能解剖、スポーツ傷害
	20	膝関節のテーピング	①膝関節内側側副靭帯損傷に対するテーピング
	21	膝関節のテーピング	①膝関節内側側副靭帯損傷に対するテーピング
	22	膝関節のテーピング	①膝関節内側側副靭帯損傷に対するテーピング
	23	膝関節のテーピング	②膝関節前十字靭帯損傷に対するテーピング
	24	膝関節のテーピング	②膝関節前十字靭帯損傷に対するテーピング
	25	膝関節のテーピング	②膝関節前十字靭帯損傷に対するテーピング
	26	後期復習	足関節底・背屈制限、膝関節靭帯損傷2種類の復習
	27	総復習①	1年間の復習（前期実施内容中心）
	28	総復習②	1年間の復習（後期実施内容中心）
	29	実技試験	実技試験①
	30	実技試験	実技試験②

2020年度　　**北海道スポーツ専門学校**　　**スポーツ健康　学科**
TR・IN・CO・SB　コース

授業科目 （科目ID）	スポーツスキルⅠ 20s113	担当教員 （実務経験）	有 ☑　無 ☐　スポーツ指導員		
対象年次・学期	1年・通年	必修・選択区分	必修	単位数	2単位
授業形態	実習	授業回数（1回90分）	30	時間数	60時間
授業目的	指導に関する留意点を学ぶ。各運動種目の特性を学ぶ。				
到達目標	様々なスポーツの特性を理解し、プレー、指導する事ができる。				
テキスト・ 参考図書等					

評価方法・評価基準	評価方法	評価割合（%）	評価基準
	試験	70%	試験、その他(受講姿勢、受講態度等)を総合的に評価する。
	レポート	%	
	小テスト	%	
	提出物	%	
	その他	30%	

履修上の 留意事項	体育館での授業になります。怪我や体調不良等で参加できない場合は、レポートを提出してもらいます。

履修主題・履修内容	回数	履修主題	履修内容
	1	ガイダンス	授業の説明
	2	種目1～7のスポーツにおける ①運動指導、及び安全管理 ②運動指導における留意点 【種目】 1. フットサル 2. バスケットボール 3. バドミントン 4. バレーボール 5. ハンドボール 6. ニュースポーツ 7. レクリエーションスポーツ ※種目1～7の実施順を入れ替える場合があります	1. フットサル
	3		1. フットサル
	4		2. バスケットボール
	5		2. バスケットボール
	6		3. バドミントン
	7		3. バドミントン
	8		4. バレーボール
	9		4. バレーボール
	10		5. ハンドボール
	11		5. ハンドボール
	12		6. ニュースポーツ
	13		6. ニュースポーツ
	14		7. レクリエーションスポーツ
	15		7. レクリエーションスポーツ
	16	ガイダンス	後期授業の説明
	17	種目1～7のスポーツにおける ①運動指導、及び安全管理 ②運動指導における留意点 【種目】 1. フットサル 2. バスケットボール 3. バドミントン 4. バレーボール 5. ハンドボール 6. ニュースポーツ 7. レクリエーションスポーツ ※種目1～7の実施順を入れ替える場合があります	1. フットサル
	18		1. フットサル
	19		2. バスケットボール
	20		2. バスケットボール
	21		3. バドミントン
	22		3. バドミントン
	23		4. バレーボール
	24		4. バレーボール
	25		5. ハンドボール
	26		5. ハンドボール
	27		6. ニュースポーツ
	28		6. ニュースポーツ
	29		7. レクリエーションスポーツ
	30		7. レクリエーションスポーツ

2020年度　　北海道スポーツ専門学校　　スポーツトレーナー／スポーツ健康　学科
AT・MT・PH／TR・IN・CO・SB　コース

授業科目（科目ID）	スノーボード・スキー宿泊実習Ⅰ 20t123／20s114	担当教員 （実務経験）	田口　清輝 有 ☑　無 ☐　トレーニング指導者		
対象年次・学期	1年・集中	必修・選択区分	選択	単位数	2単位
授業形態	実習	授業回数（1回180分）	15	時間数	60時間
授業目的	スキー・スノーボードにおける、基礎技術・知識の習得と向上を目指す。 スキー・スノーボード検定受験により、資格取得を目指す。				
到達目標	冬山における、怪我の予防、ゲレンデマナー及びリスクマネジメントを理解し、指導者としての資質を身に付ける。				
テキスト・参考図書等	必要に応じて資料等配布する。				

評価方法・評価基準	評価方法	評価割合（%）	評価基準
	試験	%	レポート・提出物等の状況を総合的に評価する その他は受講姿勢等で評価する
	レポート	10%	
	小テスト	%	
	提出物	10%	
	その他	80%	

履修上の留意事項	宿泊研修という決まりの中で、自己管理、時間管理を徹底して行う事。

履修主題・履修内容	回数	履修主題	履修内容
	1	事前説明会	目的、注意事項伝達
	2	1日目午後レッスン開始	各班に分かれ道具の特性・理論等を学ぶ
	3	1日目ミーティング	1日目学んだことを各班で話し合い、日誌に記入する
	4	1日目ナイター練習	1日目に学んだことを復習する。
	5	2日目午前レッスン開始	1日目より難易度の高い事を学ぶ
	6	2日目午後レッスン開始	1日目より難易度の高い事を学ぶ
	7	2日目ミーティング	2日目学んだことを各班で話し合い、日誌に記入する
	8	2日目ナイター練習	2日目に学んだことを復習する。
	9	3日目午前レッスン開始	2日目より難易度の高い事を学ぶ
	10	3日目午後レッスン開始	2日目より難易度の高い事を学ぶ
	11	3日目ミーティング	3日目学んだことを各班で話し合い、日誌に記入する
	12	3日目ナイター練習	3日目に学んだことを復習する。
	13	4日目午前レッスン開始	各班に分かれ、検定へ向けてレッスンをする
	14	4日目検定	今まで学んだことを踏まえて検定に臨む
	15	4日目ミーティング	4日目学んだことを各班で話し合い、日誌に記入する

2020年度　　北海道スポーツ専門学校　　スポーツトレーナー／スポーツ健康　学科
AT・MT・PH／TR・IN・CO・SB　コース

授業科目（科目ID）	基礎学習 20t124／20s115	担当教員 （実務経験）	高山　理香 有 ☑　無 ☐　事務員		
対象年次・学期	1年・前期	必修・選択区分	必修	単位数	2単位
授業形態	講義	授業回数（1回90分）	15	時間数	30時間
授業目的	現在、若者の「基礎力（学力・体力・常識力）の低下」は社会問題にもなっています。就職基礎力といわれる、学力（読み書き）や社会常識（一般教養）を中心にコミュニケーション能力などについても学習していきます。社会人としての大切な要素を学んでいきましょう。				
到達目標	社会人としての基礎力や人間力を学び、それら知識を理解・活用することができる。				
テキスト・参考図書等	必要に応じて資料を配布する。				

評価方法・評価基準	評価方法	評価割合（%）	評価基準
	試験	60%	定期試験や小テストの結果およびその他（受講姿勢、受講態度等）を総合的に評価をする。
	レポート	%	
	小テスト	20%	
	提出物	%	
	その他	20%	

履修上の留意事項	プロジェクター、プリント等を使用し、グループディスカッションなどアクティブラーニング型の授業も展開していきます。社会で適応する基礎力を身につけるためにも、積極的な授業参加を期待しています。

履修主題・履修内容	回数	履修主題	履修内容
	1	オリエンテーション、自己分析	授業の進め方、自分自身を知る
	2	コミュニケーションスキル①	自己主張と傾聴のバランス、意思疎通について
	3	コミュニケーションスキル②	協調性と自己表現力
	4	板書方法	受講力を高める
	5	基礎学力（国語①）	読み書き
	6	基礎学力（国語②）	読解力を高める（音読や語彙力）
	7	基礎学力（数学）	職務施行に必要な数字
	8	一般教養①	時事問題①
	9	一般教養②	時事問題②
	10	一般教養③	一般常識①
	11	一般教養④	一般常識②
	12	ビジネスマナー	基本的なマナー
	13	社会人として	心構え
	14	総合問題①	総合問題①
	15	総合問題②	総合問題②

2020年度　　北海道スポーツ専門学校　　スポーツトレーナー／スポーツ健康　学科
AT・MT・PH／TR・IN・CO・SB　コース

授業科目（科目ID）	ビジネススキル 18t323／20s116	担当教員 （実務経験）	高山　理香 有 ☑　無 ☐　事務員		
対象年次・学期	2年・後期 1年・後期	必修・選択区分	必修	単位数	2単位
授業形態	講義	授業回数（1回90分）	15	時間数	30時間
授業目的	就職活動の開始に先立って、社会・組織の一員として必要不可欠な社会常識やビジネスマナーの理解を目的とする。就職後を見据え、社内外で信頼を得、円滑により良い人間関係を構築するために必要となる初歩的なビジネス技能を学ぶ。				
到達目標	学習の成果として「社会人常識マナー検定」を受験し合格が目標となるが、検定を合格するだけが最終目標ではなく、その先として社会に通用する人になること。				
テキスト・参考図書等	教科書（社会人常識マナー検定テキスト2・3級）、プリント配布				

評価方法・評価基準	評価方法	評価割合（%）	評価基準
	試験	%	社会人常識マナー検定の合否と、授業内の姿勢（授業態度、過去問など）を評価の対象とする。
	レポート	%	
	小テスト	%	
	提出物	%	
	その他	100%	

履修上の留意事項	板書形式の授業を通し上記の知識を高めていく。必要に応じプリント教材などを使用する。、この授業を通し、一人の社会人として必要な心構えを身に付け、ビジネス社会へはばたくための準備をしてください。ここで身に付けたスキルは学校生活においても即実践可能なものも多いため、有効に活用すればより充実した学校生活につながるでしょう。最終的な目標は「社会人常識マナー検定」合格です。資格取得をめざし、頑張りましょう。

履修主題・履修内容	回数	履修主題	履修内容
	1	社会常識	社会と組織
	2	↓	仕事と成果
	3	↓	一般知識①　政治経済の基礎用語／漢字の読み書き／カタカナ用語
	4	↓	一般知識②　各都道府県／欧文略語／世界の国名と首都
	5	↓	ビジネス計算
	6	コミュニケーション	ビジネスコミュニケーション／敬語
	7	↓	ビジネス文書の活用
	8	ビジネスマナー	職場のマナー／来客応対／電話応対
	9	↓	交際業務
	10	↓	文書類の受け取りと発想／会議／発送
	11	検定対策	
	12	↓	
	13	↓	過去問　問題練習／解答解説
	14	↓	
	15	↓	

2020年度　　北海道スポーツ専門学校　　スポーツトレーナー／スポーツ健康　学科
AT・MT・PH／TR・IN・CO・SB　コース

授業科目（科目ID）	コミュニケーション Ⅰ 20t125／20s118	担当教員 （実務経験）	今北　雄太 有 ☑　無 ☐　スポーツ指導員		
対象年次・学期	1年・集中	必修・選択区分	必修	単位数	2単位
授業形態	講義	授業回数（1回90分）	15	時間数	30時間
授業目的	コミュニケーションを通じて、自分自身の課題を抽出し、克服する。				
到達目標	社会でも柔軟に対応できるコミュニケーションスキルの向上及び志向となることを目指す。				
テキスト・参考図書等	Reference Book(公益財団法人日本スポーツ協会)				

評価方法・評価基準	評価方法	評価割合（%）	評価基準
	試験	%	レポート 20% 提出物　20% その他　60%（受講姿勢、受講態度等30%、担当所見30%）
	レポート	20%	
	小テスト	%	
	提出物	20%	
	その他	60%	

履修上の留意事項	プリント・視聴覚機器等を活用しながら進めていきます。、人との信頼関係を築くためのツールとして『コミュニケーション』はとても大切です。社会人に向けての大切な要素を学ぶ期間として、真剣に自分と向き合ってみましょう。

履修主題・履修内容	回数	履修主題	履修内容
	1	コミュニケーションとは？	『自分を知ってもらおう！』 自己紹介
	2		『自分を知ってもらおう！』 問答ゲーム
	3		『自分を知ってもらおう！』 社会人として必要なコミュニケーションとは？
	4		『自分を知ってもらおう！』 伝える、褒める、考えを引き出す
	5	コミュニケーションスキルの向上	『会話を上達しよう！』 第一印象を良くするためには／聞き上手になるためには
	6		『会話を上達しよう！』 質問上手になるためには／信頼関係を築くためには
	7		『会話を上達しよう！』 盛り上がる話題を選ぶためには
	8	対他者力を磨こう	コミュニケーションスキル
	9		リーダーシップスキル
	10		プレゼンテーションスキル
	11		ファシリテーションスキル
	12		その他の対他者スキル
	13	他自己力を磨こう	コーチの学び、コーチのセルフマネジメント①
	14		コーチの学び、コーチのセルフマネジメント②
	15		さまざまな思考法や伝達法

授業科目 （科目ID）	コミュニケーションⅠ 20t125／20s118	担当教員 （実務経験）	北村　和弘 有 ☑ 無 ☐ スポーツ指導員
対象年次・学期	1年・集中	担当教員 （実務経験）	有 ☐ 無 ☐
授業形態	講義		
		担当教員 （実務経験）	有 ☐ 無 ☐
		担当教員 （実務経験）	有 ☐ 無 ☐
		担当教員 （実務経験）	有 ☐ 無 ☐
		担当教員 （実務経験）	有 ☐ 無 ☐
		担当教員 （実務経験）	有 ☐ 無 ☐
		担当教員 （実務経験）	有 ☐ 無 ☐
		担当教員 （実務経験）	有 ☐ 無 ☐
		担当教員 （実務経験）	有 ☐ 無 ☐

2020年度　　北海道スポーツ専門学校　　スポーツトレーナー／スポーツ健康　学科
AT・MT・PH／TR・IN・CO・SB　コース

授業科目（科目ID）	カレッジイベントⅠ 20t126／20s119	担当教員 （実務経験）	今北　雄太 有 ☑　無 ☐　スポーツ指導員		
対象年次・学期	1年・集中	必修・選択区分	必修	単位数	1単位
授業形態	講義	授業回数（1回90分）	15	時間数	30時間
授業目的	イベントを楽しく成功させる為の方法をディスカッションを通じ企画する事を目的とする。				
到達目標	誰もが楽しめるイベントを目指す。				
テキスト・参考図書等	必要に応じて資料を配布。				

評価方法・評価基準	評価方法	評価割合（%）	評価基準
	試験	%	レポート 20% 提出物　20% その他　60%（受講姿勢、受講態度等30%、担当所見30%）
	レポート	20%	
	小テスト	%	
	提出物	20%	
	その他	60%	

履修上の留意事項	プリント・視聴覚機器等を活用しながら進めていきます。、人との信頼関係を築くためのツールとして『コミュニケーション』はとても大切です。社会人に向けての大切な要素を学ぶ期間として、真剣に自分と向き合ってみましょう。

履修主題・履修内容	回数	履修主題	履修内容
	1	カレッジイベント内容①	イベントの内容説明
	2	役割分担	執行部、委員、種目担当、種目参加者の決定
	3	リハーサル	各種目のルール、及び実践確認
	4	イベント実施	スポーツ大会
	5	振り返り	レポート作成、提出
	6	カレッジイベント内容②	イベントの内容説明
	7	役割分担	執行部、委員、種目担当、種目参加者の決定
	8	リハーサル	各種目のルール、及び実践確認
	9	イベント実施	スポーツフェスティバル
	10	振り返り	レポート作成、提出
	11	カレッジイベント内容③	イベントの内容説明
	12	役割分担	執行部、委員、イベント参加者、展示担当者の決定
	13	リハーサル	執行部、委員、イベント参加者、展示担当者　当日準備
	14	イベント実施	学園祭
	15	振り返り	レポート作成、提出

授業科目 （科目ID）	カレッジイベントⅠ 20t126／20s119	担当教員 （実務経験）	北村　和弘 有 ☑ 無 ☐ スポーツ指導員
対象年次・学期	1年・集中	担当教員 （実務経験）	有 ☐ 無 ☐
授業形態	講義		
		担当教員 （実務経験）	有 ☐ 無 ☐
		担当教員 （実務経験）	有 ☐ 無 ☐
		担当教員 （実務経験）	有 ☐ 無 ☐
		担当教員 （実務経験）	有 ☐ 無 ☐
		担当教員 （実務経験）	有 ☐ 無 ☐
		担当教員 （実務経験）	有 ☐ 無 ☐
		担当教員 （実務経験）	有 ☐ 無 ☐
		担当教員 （実務経験）	有 ☐ 無 ☐

2020年度　　北海道スポーツ専門学校　　スポーツトレーナー／スポーツ健康　学科
AT・MT・PH／TR・IN・CO・SB　コース

授業科目（科目ID）	就職セミナー 20s120	担当教員 （実務経験）	濱田　光 有 ☐　無 ☑		
対象年次・学期	各学科就職学年前年・集中	必修・選択区分	必修	単位数	1単位
授業形態	実習	授業回数（1回90分）	15	時間数	30時間
授業目的	就職への意識づけ、意欲向上を目的とする。				
到達目標	各種セミナーに積極的に参加することで、社会人に必要な知識・能力について理解を深めることができる。				
テキスト・参考図書等					

評価方法・評価基準	評価方法	評価割合（%）	評価基準
	試験	%	セミナー担当者に、各プログラムに対する取り組み状況について、相対的な判断にて評価してもらう。（セミナー担当者と当該クラス担任間において情報交換し評価する場合もある。） 「レポート（感想、アンケート含む）」の提出をもって、取り組み状況を把握する。
	レポート	%	
	小テスト	%	
	提出物	%	
	その他	100%	

履修上の留意事項	セミナー参加に対する各自の目標設定等が大変重要となります。就職活動がより充実したものとなるように、積極的にコミュニケーションを図りながら、目標達成を目指してください。

履修主題・履修内容	回数	履修主題	履修内容
	1	オリエンテーション	就職セミナーの目的説明、挨拶練習、その他
	2	セミナー①	就職活動と社会人
	3		
	4	セミナー②	シンポジウム（就職活動開始から内定まで、各種試験、その他）
	5		
	6		
	7	セミナー③	就活・スーツ・見出しなみについて
	8		
	9	セミナー④	就活本番に向けて
	10		
	11	セミナー⑤	本当に必要な人材とは
	12		
	13	セミナー⑥	就活に向けての大切な第一歩！
	14		
	15	まとめ	レポート作成、就職に関する意識調査、各種アンケート等

2020年度　　北海道スポーツ専門学校　　スポーツトレーナー／スポーツ健康　学科
AT・MT・PH／TR・CO・SB　コース

授業科目（科目ID）	見学実習 20t128／20s121	担当教員 （実務経験）	濱田　光 有 ☐　無 ☑		
対象年次・学期	1年・集中	必修・選択区分	必修	単位数	1単位
授業形態	講義・実習	授業回数（1回90分）	15	時間数	30時間
授業目的	プロの現場を見学し、今後のトレーナー実習に活かす。				
到達目標	プロの現場を見学し、今後の目指すべき方向性を説明できる。				
テキスト・参考図書等	なし				

評価方法・評価基準	評価方法	評価割合（%）	評価基準
	試験	%	受講姿勢、出席状況を評価基準とする。
	レポート	%	
	小テスト	%	
	提出物	%	
	その他	100%	

履修上の留意事項	特になし。

履修主題・履修内容	回数	履修主題	履修内容
	1	オリエンテーション（濱田）	AT見学実習について概要説明
	2	プロサッカー見学実習（土岐）	プロの現場、トレーナーの動きについて見学する。
	3	プロ野球見学実習（髙田）	プロの現場、トレーナーの動きについて見学する。
	4	プロバスケットボール見学実習（濱田）	プロの現場、トレーナーの動きについて見学する。
	5	プロフットサル見学実習（若松）	プロの現場、トレーナーの動きについて見学する。
	6	病院・治療院実習　1（綿谷・鎌倉・佐田・橋場・濱田・土岐・髙田・若松）	病院・治療院内のトレーナーの動きについて見学する。
	7	病院・治療院実習　2（綿谷・鎌倉・佐田・橋場・濱田・土岐・髙田・若松）	病院・治療院内のトレーナーの動きについて見学する。
	8	講義実習　1（土岐）	トレーナー・指導者が講義を実施する。
	9	講義実習　2（髙田）	トレーナー・指導者が講義を実施する。
	10	講義実習　3（濱田）	トレーナー・指導者が講義を実施する。
	11	講義実習　4（若松）	トレーナー・指導者が講義を実施する。
	12	講義実習　5（土岐）	トレーナー・指導者が講義を実施する。
	13	講義実習　6（髙田）	トレーナー・指導者が講義を実施する。
	14	講義実習　7（濱田）	トレーナー・指導者が講義を実施する。
	15	講義実習　8（若松）	トレーナー・指導者が講義を実施する。

授業科目 （科目ID）	見学実習 20t128／20s121	担当教員 （実務経験）	綿谷 美佐子 有 ☑ 無 ☐ アスレティックトレーナー、理学療法士
対象年次・学期	1年・集中	担当教員 （実務経験）	鎌倉 一 有 ☑ 無 ☐ アスレティックトレーナー、鍼灸師、作業療法士
授業形態	講義・実習		
		担当教員 （実務経験）	佐田 裕彰 有 ☑ 無 ☐ アスレティックトレーナー
		担当教員 （実務経験）	橋場 晋也 有 ☑ 無 ☐ アスレティックトレーナー、鍼灸師
		担当教員 （実務経験）	土岐 政義 有 ☑ 無 ☐ アスレティックトレーナー
		担当教員 （実務経験）	高田 涼介 有 ☑ 無 ☐ アスレティックトレーナー、鍼灸師
		担当教員 （実務経験）	若松 直斗 有 ☑ 無 ☐ アスレティックトレーナー
		担当教員 （実務経験）	有 ☐ 無 ☐
		担当教員 （実務経験）	有 ☐ 無 ☐
		担当教員 （実務経験）	有 ☐ 無 ☐